

提案企業 株式会社ビーブリッジ（東京都）

テーマ ARを活用した福井エリアの回遊性向上と地域づくり

実施目的 ARを活用し観光客のスムーズな移動及び、福井県ならではの特別な観光体験を提供。
Withコロナ・Afterコロナにおいても、新しい形の地域の回遊を生み出す。
観光客の回遊データ等を分析して、次の施策検討や観光地の魅力向上につなげる。

<従来の方法>

SNS、WEB、観光雑誌などの情報を基にした観光スポットの訪問



- ・様々な場所に散らばった情報を探す苦労（情報アップデートも大変）。
- ・土地勘がなくあと少しで辿り着けない「道に迷う迷子時間」の発生。
- ・紹介されたスポットのみ訪問するため、地域の回遊性が低い。

<今回の実証で実現したいこと>

ARおでかけサービス「coconey」で観光客は迷わず移動。散らばった情報を一元化し、訪れた先でのAR音声ガイド・ARキャラクター表示など、現地でしか楽しめない体験を提供。



特定のスポットに訪れるとARキャラクターが出現。

観光客はキャラクターと記念撮影ができる。

- ・おすすめスポットへの回遊促進、滞在時間増加
- ・スポットアクセスデータ等を分析し、地域の魅力向上

連携先 あわら市

提案企業 株式会社ビーブリッジ（東京都）

テーマ ARを活用した福井エリアの回遊性向上と地域づくり

Q. CO-FUKUIに応募したきっかけを教えてください。

他県の実証事業と共に、知人から紹介していただいたCO-FUKUIのことを知りました。事業の中身を見ると、2024年の新幹線開通などをきっかけに、より多くの観光客が福井県に訪れることが見込まれ、弊社のサービスと親和性が高いと感じたため、応募することを決めました。

Q. CO-FUKUIで実証実験を行ってよかったですを教えてください。

本事業全体を通じて、福井県庁や事務局の皆様に手厚くサポートしていただきました。今回、実証へ向けて連携自治体をスムーズにご紹介いただき、また、実証期間中もあわら市の担当者の方にはスピーディーかつ丁寧な対応をいただき、実証実験を円滑に進めていくことができました。今まで参加した実証事業の中でも、特に満足度の高いプログラムでした。

Q. 本事業で何を実証したのか教えてください。また、その結果もあわせて教えてください。

今回の実証である「ARによる道案内とスポット情報シェア」は、「ARナビゲーション」や「訪れた先での新しい体験」を届けることにより、地域の回遊促進につなげることを目的として行いました。観光客などが福井県内に訪れた際に抱える「2つの迷子時間」（情報を探す迷子・道に迷う迷子）の解消と、訪れた先での+αの体験を届けるため、今回はあわら市にゆかりのあるアニメキャラクターとコラボしたAR体験を開発・提供しました。実証の結果、観光におけるARはニーズが高く、有効性も高いということが確認できました。

Q. 今後、実証実験を行った事業をどのように展開していくのか教えてください。

今回の実証実験で、アニメキャラクターとのコラボレーションを実現することができました。福井県で実施した事例を元に、これからもアニメやゆかるキャラとのコラボレーションを他地域でも展開していきたいと考えています。また、福井県内では恐竜博物館における施設内でのAR音声ガイド・デジタルスタンプラリー・AR恐竜など、ARナビに限らずに弊社の技術を活用して県内をさらに活性化してきたいと考えています。

関係者のコメント



あわら市観光振興課
竹内様

実証実験を実施した場所の一つである「あらた坂」は桜の美しさそのものが一番の魅力ではありますが、ゆかりのアニメキャラクターと様々な角度や位置で写真が撮れることで、更に写真撮影の楽しみ方が広がったと感じます。何気ない場所に付加価値をつけるという観点では、その場所でしか現れないキャラクターや、その場所でしか聞けない音源などと、場所を組み合わせて色々な仕掛けが考えられると思いました！

■メディア掲載情報

- 4/5 福井経済新聞、公式SNS各種
- 4/5 Yahooニュースみんなの経済新聞
- 4/20 日刊県民福井朝刊